

教科・学科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2	学年	1
使用教科書	クリエイティブ・リビング Creative Living 「家庭基礎」で生活をつくらう		発行者の番号・略称	50大修館		教科書の番号	家基709
指導者名			副教材等	なし			

1 学習の到達目標

- ・よりよい生活をつくるために必要な知識・技術、生活の見方・考え方を学び、生活マネジメント力を身に付ける。
- ・被服材料の種類と特徴および手入れや修繕の方法を理解し、自分も他人も快適になる被服の着用ができるようにする。
- ・自主的、合理的に社会の一員として行動する自立した消費者になるための知識と判断力を養う。
- ・自分と異なる世代の心身の特徴や生活について理解を深め、共生していく感性を養う。
- ・食生活の意義や重要性について理解し、健康や安全に配慮した献立作成や調理ができる。
- ・持続可能な社会と個々人のライフスタイルの関連を理解し、実践に結びつけられるようにする。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

以下のことについて、年間を通して学ぶ。

単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)
家庭科の学び方	オリエンテーション	・家庭科を学ぶ目的を知る。
生活のマネジメント	発達段階の特徴と発達課題 意思決定のプロセス 人生を見通してみよう	・ライフスタイルや生活にかかわる価値観の多様化、意思決定の重要性について理解し、演習を通して自分の将来のライフスタイルを具体的にイメージする。 ・家庭が生活マネジメントの拠点で在り、家族個人に果たしている機能と社会に果たしている機能を理解する。 ・青年期の発達課題と自立について考える。
食生活のマネジメント	栄養バランスのよい食事 食品と栄養 食品を安全に取り扱う 食事をつくる 献立づくり挑戦	・食事摂取基準、食品群の種類を理解し、何をどれだけ食べればよいか理解する。 ・栄養素の種類や働きについて学ぶ。 ・食中毒の発生原因を知り、防ぐ方法を理解し、実践できるようにする。 ・基本的な調理の技術と知識を習得する。 ・習得した栄養・食品に関する知識をいかして、献立を作成できるようにする。
経済生活のマネジメント	生活を営むためのお金 18歳で変わる消費生活 「お金を借りる」ということ 情報社会と消費行動	・毎日の生活を営むために必要な費用や家計管理と資金管理について知る。 ・契約を守る義務と責任と消費者保護の仕組みを理解する。 ・消費者信用について理解する。 ・生活情報の活用方法と情報社会における消費者の対応について考え、消費の力を有意義に使う思考と行動力を身に付ける。
期末考査(1学期)		
ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動(夏季休業中)	ホームプロジェクト	・家庭科で学習した知識や技術技能を用いて、家庭生活における課題設定から問題解決学習に取り組み、レポートにまとめる。
子どもの生活と子育てのマネジメント	子どもの発達と生活 親の役割と子育て支援 子どもの権利と福祉	・乳幼児の心身の発達や生活について理解する。 ・乳児期の「愛着」の形成や子どもの人格形成にかかわる親の役割について考える。 ・児童虐待問題を通して子どもの権利や福祉について理解する。
高齢期の生活のマネジメント	年をとると変わること 高齢期の生活を支える 介護を支える	・高齢者の心身の特徴を知り、高齢期の生活を充実させるための個人的・社会的な方策を考える。 ・高齢者の自立を支援するための社会保障、社会福祉制度について知る。 ・介護保険制度の概要を理解し、高齢者の介助を体験する。
衣生活のマネジメント	人間と被服のかかわり 快適な被服の条件 長持ちさせる手入れ 衣服の修繕 これからの衣生活	・着装目的や被服の機能について知る。 ・被服に要求される性能などについて理解する。 ・被服の適切な管理について理解する。 ・刺し子ふきん作りを通して、手縫いの基礎を習得する。 ・衣生活における資源や環境問題を考え、配慮する姿勢をもつ。
期末考査(2学期)		
住生活のマネジメント	住む人の生活と住まい 安全に安心して暮らす 住環境を見つめてみよう	・ライフスタイルやライフステージによって住空間に対する家族の要求が異なることを理解し、住まいへの要求に合った住まいのありかたを考える。 ・安全な住まいの必要性を理解し、安全に配慮した住まいのありかたを理解する。 ・環境に配慮した住まいの設備について知り、自分の生活を見直す。
食生活のマネジメント	食事をつくる 持続可能な食生活	・班員と協力して献立や調理計画を立て、バランスのとれた食事を作る。 ・食料問題や環境問題、災害時にも対応できるよう、ふだんの生活からできる取り組みについて考える。
生活をデザインする	生活課題の乗り越え方	・生活リスクについて理解し、人生におけるリスク管理の必要性を理解し、自分の生活に問題が生じたときど、どう解決するか具体的に考える。
期末考査(3学期)		

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。

3 評価の観点

知識・技能	・人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関心を持ち、基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。
思考・判断・表現	・人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などについて、生活課題を主体的に解決するために思考を深め、適切に判断し工夫し表現する能力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	・人の一生と家族、子どもの発達と保育、高齢者の生活と福祉、衣食住、消費生活などに関心を持ち、自ら学び、実生活に活かそうとしている。

教科・学科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2	学年	2
使用教科書	家庭総合 明日の生活を築く		発行者の番号・略称	9 開隆堂		教科書の番号	家総310
指導者名			副教材等	2022生活学Navi			

1 学習の到達目標

- ・人だけにみられる被服を着るという生活行動について、その目的や被服の機能、管理の仕方を学ぶ。
- ・被服製作を通して、簡単な縫製技術を習得し、ものづくりの達成感を実感する。
- ・自主的、合理的に社会の一員として行動する自立した消費者になるための知識と判断力を養う。
- ・自分と異なる世代の心身の特徴や生活について理解を深め、共生していく感性を養う。
- ・健康に生活するために基本となる食生活の意義や重要性について理解する。
- ・食品の栄養や調理上の特性などを学び、調理技術を高め実践的態度を養う。
- ・食の安全性や伝統的な食文化などにも広く関心を持ち、自分の食生活をデザインできるようにする。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

以下のことについて、年間を通して学ぶ。

単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)
自分を見つめる 家族・家庭と社会 (1学期)	人の一生と発達課題 青年期を生きる これからの家族・家庭と社会	現代の家族や、家庭と社会との関りを学ぶことで、自分なりの人生像や家族像を描くことができる。
着る(1学期)	人間と被服 被服の選択 被服の着用 被服の管理 これからの衣生活 被服をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・着装目的や被服の機能について知る。 ・被服計画の立て方や繊維製品の表示について理解する。 ・被服の材料である天然繊維や合成繊維、被服に要求される性能などについて理解する。 ・被服の適切な管理について理解する。 ・繊維産業の実態や不用衣服の有効利用について考える。 ・被服製作を通して、手縫いの基礎を習得する。
消費者市民として生きる・生涯の生活設計(1学期)	消費生活の変化とその課題・持続可能な消費生活 消費行動と意思決定 消費者の権利と責任	<ul style="list-style-type: none"> ・被服の生産を通して、持続可能な消費生活について考え、理解を深める。 ・成人年齢引き下げに伴い、契約の重要性と消費者保護の仕組みを理解する。
期末考査(1学期)		
ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動(夏季休業中)	ホームプロジェクト	・家庭科で学習した知識や技術技能を用いて、家庭生活における課題設定から問題解決活動までを主体的に取り組む。
子どもの発達と保育・福祉(2学期)	子どもの発達と生活 親の役割と子育て支援 子どもの権利と福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の心身の発達や生活について理解する。 ・協力して子育てをすることや、支援策について理解する。 ・児童虐待問題を通して子どもの権利や福祉について理解する。
高齢者の生活と福祉(2学期)	高齢者と関わり理解する 高齢者の生活と課題 人間の尊厳とケア 高齢社会の福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者疑似体験を通して、加齢に伴う心身の変化を理解するとともに、適切な介助について考える。 ・高齢社会の現状と問題点について学ぶ。 ・介護の3大原則など介護者の心得について学ぶ。
食べる(2学期)	人間と食べ物 食品と栄養 食事をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割や、変化する食生活について学ぶ。 ・だしの飲み比べを通して、日本や世界の食文化について理解を深める。 ・栄養素の種類や働きについて学ぶ。 ・調理実習を通して、基本的な調理の技術と知識を習得する。
期末考査(2学期)		
食べる(3学期)	食事を調える 食品の衛生と安全 これからの食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・班員と協力して献立や調理計画を立て、バランスのとれた食事を作る。 ・食品の栄養や調理上の性質について学ぶ。 ・食生活の実態を知り、消費者としてできる取り組みについて考える。
期末考査(3学期)		

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。

教科・学科	家庭	科目	家庭総合	単位数	2	学年	3
使用教科書	家庭総合 明日の生活を築く		発行者の番号・略称	9 開隆堂		教科書の番号	家総 310
指導者名			副教材等	2021生活学Navi			

1 学習の到達目標

- ・家族の生活の器である住まいに関心を持ち、安全で快適な生活を送るための方法を理解する。
- ・子どもの発達について、特に親となる視点からとらえ、その責任や社会的支援について考えを深める。
- ・資源や環境に配慮した適切な意思決定と責任ある消費行動が実践できるようにする。
- ・自主的、合理的に社会の一員として行動する自立した消費者になるための知識と判断力を養う。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

以下のことについて、年間を通して学ぶ。

単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)
ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動(通年)	ホームプロジェクト	「日常生活について考える」をテーマに、家庭生活における課題設定から問題解決活動までを主体的に取り組む。また、発表活動を通して他者との情報共有につなげる。
消費者市民として生きる(1学期)	家計のマネジメント 消費者行動と意思決定 消費者の権利と責任 持続可能な消費生活	・初任給や学費、生活費などの実態を把握し、生活設計ができる。 ・消費者としての意思決定や自己責任などについて学ぶ。 ・資源やエネルギー、ごみの問題に関心をよせ、自分たちが毎日の生活の中でできることを考える。 ・環境先進国の取り組みについて学び、わが国のこれからの消費生活の在り方について考える。
生涯の生活設計(1学期)	リスクに備える キャリアを見通す	・生活を支える社会保障制度について学ぶ。 ・一生のうちに起こりうるライフイベントについて学び、生涯を見通した生活設計を行う。
住まう(1学期) 期末考査(1学期)	人間と住まい 様々な住まいと暮らし方 安全な住まい まちづくりと住まい	・住まいに関する基礎的、基本的な知識を身につける。 ・災害が増える中で、自分と他者とが安全に暮らし続けられる住まい方、まちづくりを考える。
子どもの発達と保育・福祉(2学期)	親の役割と子育て支援 子どもの発達と生活 親の役割と子育て支援 子供と関わる 子供の権利と福祉	・マタニティ体験を通して、妊娠・出産、子育てについての理解を深める。 ・沐浴実習を行い、乳幼児の身体の発達や育児方法について学ぶ。 ・親になることの責任について考え、父母が共同で子育てに参加することの意義を考える。 ・家庭保育や集団保育の状況について知り、子育ての社会的支援について考えを深める。 ・少子化問題の原因について理解し、子育てを楽しめる社会の在り方について考える。
自分を見つめる(2学期) 期末考査(2学期)	人の一生と発達課題 青年期を生きる	・今の自分が、ライフステージのどの段階に位置するのかを考え、自分のこれまでと今、そしてこれからについて考える。
家族・家庭と社会(3学期)	現代の家族と家庭の機能 現代の家族の特徴 家族の法律	・家庭の機能や現代家族の特徴、家族を支える社会制度などについて学ぶ。 ・職業生活の意義や男女共同参画の社会の在り方について理解した上で、自分の将来の生活を自分なりにデザインする。

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。